



たまだれ  
No.62

# 玉垂

Tamadale

”令和のお屋根替え”  
次世代へつなぐ 祈り・技・美



遠江国一宮 小國神社 ～一宮と云われる所以～

例祭齋行 ～大神様に捧げる日々の感謝のころ～

特別寄稿文

公益社団法人 大日本報徳社 社長 鷲山恭彦 / 万象具徳 以徳報徳 — 建立された二宮金次郎像に想う —

遠江国一宮

# 小國神社の由来

## 創

始は神代と伝えられ、延宝八年（一六八〇）の社記によると、人皇二十九代欽明天皇の御代十年（五五五）二月十八日に本宮山峯（本宮山）に御神霊が顕れた後、勅使が遣わされ、山麓約六キロの現在地に社殿を造営し、正一位の神階を授けられました。

それ以来、年々御神前に幣帛を捧げられ文武天皇大宝元年（七〇一）春十八日に勅使奉幣の際、特に十二段舞楽を奉奏されました。延喜七年（九〇七）延喜式内社に列せられ、中世には徳川家康をはじめとする武将など、朝野の崇敬が極めて篤く近世に至っております。

元亀三年（一五七二）の戦では、家康公は御神霊を別所に遷し、願文と三条小鍛冶宗近作の太刀を奉り戦勝を祈願した後、社殿を全て焼失しました。

天正三年（一五七五）に勝利を得た家康公は、御本殿の造営、拜殿・楼門を再建され、更に社領五九〇石の朱印を奉り、以降世々の徳川將軍家より、社殿の改造・修復料を寄進されました。

明治六年六月十三日に国幣小社に列せられ、明治十五年三月に再度の火災により御本殿以下建造物など消失しましたが、明治十九年に復興され現在に至っております。平成十七年には御鎮座一四五〇年祭が斎行され、『遠江国の一宮さま』として崇敬され広く親しまれております。

また、平成十五年九月十四日には、秋篠宮文仁親王殿下同妃紀子殿下のご親拝を賜り、平成十八年十一月八日には、神宮祭主池田厚子様のご参拝、平成二十九年四月二十九日には、高円宮妃久子殿下のご親拝を賜りました。



小國神社のはじまりから現代までの壮大な物語

おくにじんじや  
**小國神社ものがたり**  
ご祭神とともに

公式ウェブサイト特設ページで  
スペシャルムービー公開中

小國神社ものがたり

検索



日本の神様の物語は『日本の良き国柄』、『伝統』、『文化』を今に伝えています。

この物語は、静岡市在住の絵本・造形作家のたたらなおきさんよりご奉納いただいた全長約七メートルの絵物語をもとに作成をしたアニメーションです。神代より語り継がれてきたお話には、

日本人の「豊かで優しい和の心」の原点が描かれています。神々の営みの中から「正しい道筋をたてて生きてゆくことの大切さ」や、「思いやりのこころ」を学びましょう。



神幸所祭の神子舞奉奏（令和3年4月18日）

## ご挨拶

本年の四月の例祭及び諸祭事は、規模を縮小しつつも例年通り無事賑々しく執り行うことが出来ました。これも偏にご関係の皆様のご協力の賜と衷心より厚く御礼申し上げます。

また、当社の花しょうぶ園ですが、例年に比べ開花が一週間ほど早く五月二十日より開園致しました。本年は生育が順調で昨年植え替えをしました苗もすっかりと根を張り、近年にはない美しい花々が咲き競い来園された多くの皆様を楽しませてくれました。コロナ禍、閉塞感が漂うなか花は何よりのめぐみで、本当に癒されます。

さて、コロナのワクチン接種が始まりました。我国はスタートで出遅れましたが、やっとスピード感が出てまいりました。関係者の皆様に感謝申し上げます。一方、感染者数は一進一退で、「コロナ疲れ」もあり緩みがちです。世界の例を見ましても成果が出ている国は、それなりに私権を制限しており、我国も非常時に対応できる法整備は急務と存じます。一日も早い終息をお祈りいたす次第です。

ところで、ご縁を頂き講演をお願いした北朝鮮による拉致被害者家族の横田哲也さん（めぐみさんの弟）の父、滋さんがお亡くなりになりました。一年が経ちました。しかしながら、拉致問題は政府や被害者家族の皆様、そして各種関係団体の長年に亘る懸命な活動にも関わらず、未だに解決の糸口すら見えません。この運動も長期化の中で無力感や閉塞感に苛まれている感は否めませんが、この状況を乗り越えなくては進みません。政府と国民が一体となって内外に拉致被害者即時帰国の実現に向け声を上げ続けることが大切です。ご家族の心中は察するに余りあります。決して他人事ではないのです、人としての矜持を正す覚悟を持ち、道義に反することは許してはなりません。

昨年より当社で進めています「天皇陛下御即位記念 令和のお屋根替え」の記念事業でございますが、第二期工事であります御本殿のお屋根替えに着工しています。現在は、階隠（階段上の屋根）の檜皮葺作業が終了し、御本殿の平葺き作業を行うための野地板の補修を行っているところです。工事は順調に進んでおり、予定通り本年十一月十日(水)には本殿遷座祭を、翌十一日(木)には本殿遷座奉幣祭を斎行できることと存じます。引き続き、格別のご支援ご奉賛を賜りますようお願い申し上げます。

向暑の砌、くれぐれもご自愛ください。

令和三年六月二十日

# 例祭 齋行

## 大神様に捧げる 日々の感謝のこころ

### 垢離祭の齋行

四月十五日(木)午前十一時より、末社塩井神社の垢離祭を齋行いたしました。

この祭典は、例祭を齋行するにあたり神職を始め舞楽人が身を清める為の塩水を汲むお祭りです。

当日は、汲み上げた塩水をご神前にお供えし、古式十二段舞楽指南役の白幡富幸様を始め舞楽人の皆様をご参列されました。奉仕者は、例祭期間中、汲み上げた塩水を浴槽に入れ潔齋を行います。心身共に清めます。



塩井戸より塩水をいただきます▲

### 献詠祭の齋行

四月十七日(土)午前十時より献詠祭を齋行いたしました。

献詠祭は、大神様に和歌を奉納し歌道の隆昌を祈願するお祭りですが、祝詞の中には「禍神の心も和め」という言葉もあり、例祭が恙無く執り行われるよう祈願する祭典でもあります。

本年は、「絆」・「コロナ」の二つ兼題で募集いたしましたところ、氏子崇敬者の皆様から多数ご奉納いただきました。ご奉納いただきました作品はご神前にお供えし、祭典後には舞殿横掲示板にて皆様にご披露させていただきます。



華やかな境内 (4月18日)▲

### 前日祭の齋行

四月十七日(土)午前十時より前日祭を執り行い、翌日の例祭が恙なく齋行されますようお祈りいたしました。

この祭典は、一般的には宵祭りにあたるお祭りです。当社でも、以前は宵の刻に行っておりまして、江戸時代に編纂された『延宝の記録』には、「同十七日晚 御供 今晚、神主并惣神役人参籠、夜、神楽有り 舞楽十二段ノ内九段行之」とあり、宵の刻に行われていたことがわかります。元来、神様は常に社殿の中に鎮まっているというよりも、祭りの時のみ、しかも夜間に来臨されると考えられていました。そのようなことから祭りの前晩は、とても重要な晩であると意識されていたのです。



前日祭の神子舞奉仕者▲

### 氏子入り奉告祭の齋行

四月十七日(土)午後二時より、氏子入り奉告祭を齋行いたしました。氏子入りとは、同じ地域に住む

人々が共同で祀る神様(氏神)の氏子になることをいいます。本年は令和二年一月一日から十二月三十一日までにお生まれになったお子様や嫁入り・婿入り・転入居住された皆様にご参列いただき、当社の氏子に加わったことをご神前に奉告し、家内安全や身体健全・無事成長をお祈り申し上げます。



玉串をお供えする皆様▲

## 例祭の斎行

四月十七日(土)・十八日(日)の二日間に亘り、例祭及び諸祭儀・神賑行事を滞りなく執り行いました。

本年は、例祭参列者や神幸祭の奉仕者の人数制限を行い、飲食を伴う行事は中止するなど新型コロナウイルスの感染防止に努め、無事賑々しく執り行うことができました。

十八日(日)午前十時からは例祭を斎行し、国家の安泰や地域の繁栄、氏子崇

敬者の皆様のご健勝とご多幸、そして新型コロナウイルスの終息をお祈り申し上げます。

引き続き午後二時からは神幸祭が斎行され、勅使参向の時代絵巻を再現した勅使行列や鮮やかな衣装を身に纏った稚児前の舞殿におきましては、国指定無形民俗文化財の十二段舞楽が奉奏され、神子舞や手揉み茶の実演など規模を縮小しつつも、ほぼ例年通り執り行うことが出来ました。



例祭 参進▲



神幸所へ向かう行列▲



稚児行列ご奉仕の皆様▲



勅使役 絵本・造形作家 たたらなおき様▲

### 森町指定無形民俗文化財神子舞(巫女舞)

当社の巫女舞(御神楽)は、天正18年(1590)の「遠州小國一宮天宮神領之事」が初見で、400余年の伝統を誇ります。

延宝6年(1678)の「配当帳」に「御子 式部・蔵人・靱負・斎」とあり、すでに近世初期には4人の舞となっていたと記され、現在でもその形は継承されています。

現在の指南役、原田多加資様は伝統文化の継承に尽力されています。



奉仕者の皆様▲

神子舞奉仕者御芳名

(敬称略・順不同)

指南役 原田多加資  
奉仕者 今村心咲

天野友珠子  
山本伊織  
内藤紗弓

# 小國神社 特殊神事芸能 古式十二段舞樂

大神様へ捧げる ”誠の心“

古より護り伝える伝統の

## 古式十二段舞樂の奉納

当社の舞樂は、今から約一三〇〇年前の飛鳥時代末にあたる大宝元年（七〇一年）に天皇の使者である勅使（ちよくし）が当社に遣わされた際に、現在の森町一宮の地に社殿を造営し、十二段の舞樂を奉納したのが始まりとされています。

現在は、小國大神様へ誠心をもって奉納することを本義とし「遠江国一宮小國神社古式舞樂保存会」が組織され、指南役や師匠を中心として小國神社氏子青年会の協力のもと保存伝承に努めています。

今年の十二段舞樂は、四月十七日（土）・十八日（日）の二日間、感染症対策を徹底しながらの奉奏となりましたが、一番の連舞から十二番獅子までの演目全てを、例年通り無事に奉納していただくことが出来ました。

関係各位のご理解ご協力で心より御礼申し上げます。



十一番 納蘇利 ▲



四番 鳥の舞 ▲



奉仕者の皆様 ▲



太平樂



稚児舞



## 古式十二段舞樂奉仕者御芳名

(敬称略)

獅	納	陵	二	安	色	太	稚	衣	舞	樂	樂	行	副	指
子	蘇	王	の	摩	香	平	児	裳	人	頭	頭	頭	指	南
	利		舞			樂		方		事	事	事	南	役

鈴	内	村	栗	白	小	鈴	内	下	山	成	西	岩	山	鈴	石	天	朝	兩	大	鈴	渡	小	菅	藤	山	鈴	小	石	野	鈴	小	鶴	内	北	大	天	大		
木	山	山	松	田	幡	川	木	藤	原	本	瀬	尾	瀬	本	木	橋	野	比	角	場	木	辺	柳	沼	原	崎	木	林	橋	口	木	川	見	藤	島	場	野	大	
聖	智	敬	一	強	佐	正	章	健	満	公	辰	康	宏	易	温	睦	慶	稀	陽	晃	蒼	隼	勝	宏	雅	章	正	俊	明	恵	詞	加	富	幸	篤	幸	篤	幸	
也	昭	浩	郎	介	彦	恭	夫	篤	史	勉	雅	享	紀	也	雄	高	慈	齊	真	基	一	介	音	弥	生	誠	幸	隆	高	人	夫	恭	之	廣	介	信	志	篤	幸

# 清浄な灯りをご神前に

## 大前を照らす御神燈献燈

### 清浄な灯りをご神前に

本年の例祭におきましても多くの氏子崇敬者の皆様より、御神燈と雪洞を献燈いただきました。

灯りには元来「火」がつきもので「火」は清め祓いに用いる清浄なものです。

また私たちの祖先は「火」そのものが諸霊を呼び込むものと考えてきました。

大前に灯りをお供えすることは、照明としての意味と、ご神域を清浄に整える二つの意味があります。

ここに改めまして御芳名を掲載し、重ねて御礼を申し上げます。

### 御芳名

(敬称略・順不同)

- (株)小倉商店 森町 豊田合成(株)森町工場 袋井市
- 岡野建設(株) 森町 森町
- (株)村上社寺工芸社 森町 みどり写真館 森町
- 兵庫県 (株)長谷川製作所 森町
- 大石靴店 森町 埼玉県
- (株)丸井紙店 山梨県 京都府
- 大沼建設(株) 森町 宮崎モーターズ 森町
- (株)松鶴 森町 森町
- (株)阿部 栃木県 (株)三愛工芸 茨城県
- 常陸神宝(株) 茨城県 (株)三永 森町
- 春日屋青果店 袋井市 リリーフ(株) 森町
- (有)破魔矢奉製所 倉見建設(株) 森町
- 神奈川県
- (有)浦野モーターズ 森町

(有)デザインオフィス  
エム・エス・シー

## 神賑わいの灯り雪洞献燈

### 御芳名

(敬称略・順不同)

- 小国ことまち横丁 (株)鈴木長十商店
- 小国ことまち横丁 (株)ネクスコーポレーション
- ことまち夢小径 (株)鈴木長十商店
- あさひな(株)
- (株)久米吉
- (株)仲孝
- (有)太田茶店
- (株)ダイゴ
- (株)青木恒産
- (有)朝比奈造園
- 胡社斎
- (株)鈴木建築
- 友誠
- (有)西尾工務店
- 森のどうぶつ病院
- 長岡香料(株)静岡工場
- 三木の里カントリークラブ
- サンフード機販(株)
- 静岡工場
- 松田歯科医院
- ヤマハ発動機(株)
- 森町工場
- (有)アマノ
- (株)太雄工業
- (有)大井製作所
- 西村医院
- (有)オーキッド
- ぴあタウンシヤトー中川
- 烏骨鶏苑

金山化成(株)

シズオカ工場

大同DMソリューション(株)

静岡工場

ヤスマ(株)静岡工場

(株)ザ・フォレスト

カントリークラブ

(株)山本環境整備

(株)葉匠 あさおか

(株)ツカモト

野口園

松浦製茶(株)

(有)富士鉄工

(株)八幡屋茶舗

松ヶ谷診療所

(有)政和電気

遠州森鈴木農園(株)

(株)さのや会館

あしかび

(有)ヤマニシ建築

亀山銀男

小国神社 敬神婦人会

小国神社 氏子青年会

遠州みもろ焼

(有)アカネ造園土木

浜松ロール製作

メイクアップ(株)

(株)デイトナ

旭自動車

ITAMAE遊穂

(有)北島電気工業

(株)ジェイエイ

遠中サービス

(有)守屋モーター

(株)一宮

(有)ムラマツ住建

(有)今泉土木  
かねとよ(株)  
加藤修・孝尚事務所  
田中屋酒店  
(株)アイムファイイン  
(有)インテリア村松  
(有)エムケイデンキ  
(株)やまひろ関東工場  
マルミ塗装  
日本工機(株)  
清水商店  
暁雲窯  
真田の森  
鈴木土建(株)  
Cafe もりまち  
ビューティサロン  
タカヤナギ

美容室たけしの店  
一ノ宮郵便局  
(有)栄産業  
入鹿ハム  
(有)金原石油  
花ぎょうざ  
(株)家本工務店  
(株)アコルトパッケージ  
建機工業(株)  
カルト(株)  
鈴木美容院  
乗松刃物  
なかね美容室  
楽酒処 駿  
東京理容  
工房HAL  
サイクルショップ  
パストラーレ

(有)共栄土建  
豊一商店  
(株)日本温装工業  
(有)石田茶店  
(株)袴田製作所  
森町工場

(有)鈴木次郎商店  
百々や  
栗田商店  
中井商事(株)森工場

(有)多米建設  
山本フミコ美容室  
フナギテッケン(株)

園田支店

森のびようしつ

(株)関東甲信クボタ

遠州森営業所

遠州中央農協

へアーサロンタカギ

鈴伍酒店

(有)すぎ工業

(有)アサヒ

遠州中央農協

園田支店

森のびようしつ

(株)関東甲信クボタ

遠州森営業所

遠州中央農協

へアーサロンタカギ

鈴伍酒店

(有)すぎ工業

(有)アサヒ

遠州中央農協

園田支店

森のびようしつ

(株)関東甲信クボタ

遠州森営業所

遠州中央農協

へアーサロンタカギ

鈴伍酒店

(有)すぎ工業

(有)アサヒ

遠州中央農協

園田支店

森のびようしつ

(株)関東甲信クボタ

遠州森営業所



## 万象具徳 以德報徳

— 建立された二宮金次郎像に想う —

公益社団法人 大日本報徳社 社長

鷺山恭彦

### 遠きをはかる



小林健さんが小國神社に二宮金次郎の石像を奉納された。浜松を中心に造園、植栽、盆栽などのお仕事をされ、一十園や植木市場を経営されておられる。六百の村を飢餓と貧困から救って農村を再興した二宮尊徳に、小林さんは日本人の魂を見て、そこから人生の導きを得て来られたという。奉納されたのは、本を片手に前方を見つめる凛々しい金次郎像である。「遠きをはかる」その眼差しに惹かれるという。小國神社の門前に新たに建立され、三月十八日、清祓式が執り行われた。

### 敬神崇祖



二宮金次郎像は、門前の右側に建立された。左側は「敬神崇祖」の碑である。この碑を書かれた方のお名前を聞いて驚いた。杭迫柏樹さんである。有名な書家であるのもとりだが、何より驚いたのは、尊徳の報徳思想との

御縁である。

杭迫さんの実家、森町の山中家は、

尼子家の忠臣・山中鹿之助を先祖にもつというが、明治時代、遠州に報徳思想が広がった時、地域興しの先頭に立ったのが、山中家から出た新村里助・小野江善六・伊藤七郎平の三兄弟である。遠州報徳運動を牽引し、農村の立て直しに大きな功績を挙げられた。

磐田の報徳館には、伊藤七郎平の顕彰碑がある。私の祖父の恭平は、伊藤七郎平の業績を残そうと評伝を書き、顕彰碑も建てた。字は書道の国定教科書を書いた日高秩父である。日高秩父が見附に書きに来られた時のこと、牛がへとへとになりながら顕彰碑を運んで来た日のことなど、母は子供の頃の思い出として、私に語ってくれたことがある。

そんな過去も蘇って、歴史が生き生きと立ち上がってくるのを覚えた。それが現代と結びつき、新しい縁を生んで歴史を創造して行くのだと思う。

### 万象具徳



大自然の中に佇む小國神社には自然の靈気がただよい、金次郎像と共に大自然の悠久に感じることを感じさせる。

二宮尊徳には万象具徳という考えがある。あらゆるものに徳が具わっているという考え方で、これは神道の八百万の神々に由来している。明治以来のいわゆる国家神道は勇ましすぎて苦手だが、日本古来の自然神道は胸に落ちり収まる。まさに日本人の心である。尊徳は、あらゆるものに神が宿る自然神道を、あらゆるものに徳が宿るとして「万象具徳」に転換した。そしてこの徳に対して徳で報いよと「以德報徳」を説いたのである。

### 以德報徳



尊徳の思想は、「積小為大」「一円融合」を説き、「至誠・勤労・分度・推譲」の実践、「天道と人道」「道徳と経済」の良き関係構築など、多彩で

ある。

その中で、「万象具徳・以德報徳」は、人と世界の関係の基本を示す。しかも実践的である。机にも箆にも、あの子にもこの子にも、みんな徳が具わっている。その徳に徳で応えよという。徳とは何か。これも大きな課題だが、さしあたり長所、取柄と考えてよいだろうか。それに対して自分の徳で報いるのである。

保育園、幼稚園、小学校の頃からこの考えに馴染めば、いじめはずっと少なくなるのではないか。大人には、徳とは何かの課題である。知識があっても、徳があるとは言われない。知識が知恵になりその人の個性とどう結びつくのか。徳は一生の課題である。



### 実践第一

金次郎の負薪読書像は、大恐慌が起きた昭和初期から地域の人々の手で日本各地に造られ始めた。今では歩きスマホを推奨するようで良くないなどと揶揄されるが、親たちは当時、本を讀

む金次郎に精神的・道徳的向上心を、薪を背負う姿に生活と経済安定への刻苦精励を見て、子どもたちにかくあれかしと願ったのである。

この像の肝は、足を前に踏み出してるところにある。実践第一を現わす。杭迫柏樹さんは、現在、「知行合一」の王陽明を研究されている。書の世界で尊徳の流れを継いでおられる。そして「花は野にあるように、書は暮らしの中に」と言われる。書が家庭や職場から消えて久しい。展覧会中心主義によつて芸術性が重視されたからだ。美の鑑賞だけでなく、生きる足しになるどんな言葉が書いてあるかも重要だと言われる。大切な提言である。



### 天道と人道の融合

大洪水、異常気象、環境破壊は、尊徳流に言えば、歪んだ天道が天道まで歪めた結果である。植栽、盆栽の仕事を通じて小林健さんは、自然と共存から生まれる営みの大切さを身にしみて感ずるといふ。

主体と客体関係から全てを導く西歐思想は、客体を解明して科学を発展させたが、客体の支配が主要関心事で、美しさも左右対称や均斉など人間の創り出した合理的美が追求される。

しかし自然と対話する盆栽は、共存と共栄の世界である。まさに八百万の神々の個性豊かな世界で、あらゆるものに神が宿り、徳が宿る。小林さんは人間の営みに大自然をどう取り入れるかが課題だといわれる。

ウイズ・コロナ、ポスト・コロナの生き方が問われている。モダンをどう乗り越えていくか。それはかつてのように西歐思想を取り入れることではない。ポスト・モダンの思想は、尊徳などのプレ・モダンの思想を、モダンの立場からいかに摂取、転換して今に生かすかではないのか。

小國神社の門前の小林健さん、杭迫柏樹さんの想いには、思想、芸術、社会、実践を巡って、近くを固め、遠きをはかる、ダイナミックな思想が内包されている。



### プロフィール

公益社団法人  
大日本報徳社 社長  
鷲山恭彦

1943年 掛川市土方村生  
1970年 東京大学大学院修了  
新潟大学教養部講師  
1975年 東京学芸大学教育学部講師  
1993年 東京学芸大学教育学部教授  
2003年 東京学芸大学学長  
2010年 奈良教育大学理事  
大学評価・学位授与機構評価研究部客員教授  
2018年 大日本報徳社社長

一宮はなしようぶ園



のご報告

開園期間

五月二十日(木)～六月十三日(日)



咲き揃う花しょうぶの花々 (5月30日) ▲



翠映 (5月23日) ▲



宇宙 (5月31日) ▲



初紅 (5月23日) ▲



爪紅 (5月23日) ▲



花しょうぶまつり (6月6日) ▲



紫衣の誉 (5月31日) ▲

# 遠江国一宮 小國神社

## 一宮と云われる所以



一宮とは、どのようなものでしょうか

歴史学者である井上寛司氏を中心として発足した一宮研究会の『一宮制度の研究』によりますと、一宮とは、その国の神社の中で最も信仰が篤く勢力が強い神社のことをいい、十一世紀から十二世紀初めにかけて神社の歴史や伝統、国ごとの条件が規程されながら成立されたとされます。平安時代の後期より全国的に一宮制度が広まり始め、鎌倉時代になりますと幕府によって体系化され、ほとんどの国々で成立しました。

この一宮制度の発生には、様々な説が考えられますが、律令制度の変化に伴って生まれたきたものであり、民衆の篤い崇敬を背景に国司の任務である任国内神社の祭祀執行にあたり便宜上序列化したことに始まると考えられています。

小國神社は、いつから一宮と呼ばれるようになったのでしょうか

当社が一宮として初めて記録に現れるのは鎌倉時代の文暦二年（一二三五）に編纂された『鎌倉遺文』です。この文献には「当国鎮守小國一宮」と記されています。

一方、平安時代末期の永万元年（一一六五）に編纂された『神祇官諸社年貢注文』の中には「遠江国 小國社 八丈絹五疋進」とあります。この頃になると律令制度が衰退し神祇官の経済が破綻したため各国の有力神社から年貢を徴収するようになります。この時、遠江国では小國神社だけが神祇官へ年貢を納める社となり八丈絹五疋を納めたという内容です。

しかし、年貢注文を見ますと他の国には一宮の名称が記されていますが、小國社にはまだ一宮とは記されていません。このことから、一宮といわれ

るようになったのは平安末期から鎌倉初期の間と考えられます。

延喜式とは何でしょう

平安時代、律令（法律）の詳しい運用規則の制定が必要とされ、『弘仁格式』『貞観格式』『延喜格式』が編纂されました。この格式とは律令条文の改正及び追加法令と施行細則を意味する法典です。この格式の中で、今日までほぼ完全な形で伝えられているのは『延喜式』だけとなります。

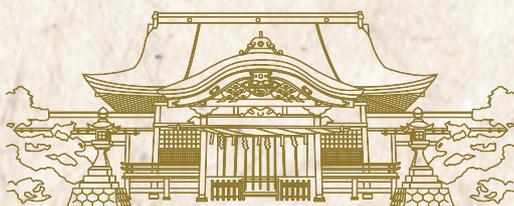
この『延喜式』は、醍醐天皇の命により編纂され延長五年に完成した法典で全五十巻ありますが、その内容は律令官制の二官八省の役所ごとに配分され、規定の内容が微細な事柄に及ぶため、日本古代史の研究に不可欠な文献であり神社の歴史を知る上でも、とても重要視されています。

また、巻一から巻十までが神祇官関

係の式にあたり『神祇式』といいますが、この中の神名帳は当時の官社である二千八百六十一社（天神地祇三千百三十二座）の一覧表であり、祈年祭の幣幣（毎年二月の祈年祭に神祇官より各神社の祝部に幣帛（供物）を授けたことをいいます）に預かる神社を国別に記したものです。

この神名帳に記載された神社は「式内社」と呼ばれ、由緒ある神社として、また一種の社格として尊重されていました。

当社も、この神名帳に記載された式内社に該当します。



## 平安時代前期 遠江国内の神社に関する記録

西暦	年月日	記事(出典)
八四〇	承和七年六月二十四日	小國天神・矢奈比売天神に従五位下を授ける(続日本後紀)
八五〇	嘉祥三年七月十一日	任事(己等乃麻知)神・鹿苑神に従五位下を授ける(文徳実録)
同	同年八月三日	浜名湖口の開通を祈るために角避比古神を官社とする(同)
八五二	仁寿二年閏八月五日	息神に従五位下を授け、同十三日、官社とする(同)
八五三	同三年十一月二十七日	敬満神霊を名神とする(同)
八六〇	貞観二年正月二十七日	敬満神に正四位下を、荊原河内神・小國神・鹿苑神に従四位下を、矢奈(比売)神・己等之・真知乃神に正五位上を授ける(三代実録)
八六二	同四年五月一日	曾許乃御立神・賀久留神に従五位下を授ける(同)
八六四	同六年三月二十三日	筑紫対馬神に従五位下を授ける(同)
八六五	同七年五月八日	淡海石井神に従五位下を授ける(同)
八六六	同八年十二月二十六日	蟾涓神・鳥飼神に従五位下を授ける(同)
八六七	同九年十月五日	鴨神に従五位下を授ける(同)
八七三	同十五年九月二十七日	伊古奈神に従五位下を授ける(同)
八七四	同十六年二月二十三日	荊原河内神・小國神に従四位上を授ける(同)
同	同年五月十日	岐氣保神に従五位下を授ける(類聚国史)
同	同年五月十一日	浦大神・白伊大刀自神に従五位下を授ける(同)
八七八	元慶二年九月十六日	真蘇原神・赤尾神・淡垂神に従五位下を授ける(三代実録)
八八九	寛平元年十二月二十五日	雄神に正四位下を授ける(日本紀略)
九二七	延長五年	「延喜式」完成。全国の神社(式内社)を網羅する

### 千年前から変わらない社名

遠江国の中で一番最初に記録に現れる神社は小國神社です。それは、平安時代の初め承和七年(八四〇)に従五位下の神階を授けられたという『続日本後紀』の記述です。

律令制度の衰退に伴い平安中期以降は、式内社の記録がほとんど見られな

くなり実態もわからない状態となります。

その後、式内社が復活するようになるのは、江戸時代中期の国学の発展により、式内社の研究が始まってからとなります。

実際には江戸時代以降に推定した神社が多く、当社のように社名も変わらずに古代以来続いている神社は極めて少ないのです。

### 社名の意味

当社の社名ですが、『延喜式』によりますと「小國神社」とあり、「ヲクニノ」とルビがついています。このように古から小國神社と書いてヲクニ(の)カムヤシロと呼ぶのが基本であったとされます。

他には小國神や小國天神、中世以降には一宮や小國大明神、事任社、小國一宮事任鹿苑神社、一宮小國鹿藪大菩薩などと呼ばれていました。

また、「小國」は古典にしばしば登場し、古代における「聖地」を示す表現「初瀬小國」(奈良県桜井市の三輪山を起点とする初瀬川沿い)という言葉に由来します。これは、「山から流れる清らかな川沿いの谷間」という地形的特徴を示すとともに「神を祀る聖地」あるいは「神を祀る清らかな場所」を意味します。

当社が鎮座する地もまた、本宮山から流れる清らかな川沿いの谷間にあることから、その特徴にも良く合致します。古代の人々は、このような清々しく幽玄な空間に靈性を見出していました。

### 一宮荘の成立

一宮荘という荘園の名前が初めて登場するのは南北朝時代の正平七年(一三五二)の記録に足利尊氏が筑前の守護である少弐資経に一宮荘などを相伝することを安堵した文書(「静岡県史」資料編6、「町史」二)があります。

律令制度が弛緩し中央集権国家の機能が衰えてきますと、貴族や社寺は収入を維持するために私有地を確保するようになります。

これが荘園であり小國神社の周辺にも沢山生まれてきますが、その中に「一宮荘」があります。

成立の時期や経緯、領主などは不明ですが、恐らく小國神社が領主であり、当社が一宮と呼ばれるようになってから成立したもので間違いないと考えます。



## 小國神社関係・「一の宮」の記録

和 暦	西 暦	出 典	記 事
文暦 2	1235	鎌倉遺文(『町史』2)	当国鎮守小國一宮
建武 3	1336	筑紫古文書追加(同上)	遠江国一宮太田郷内一藤名
正平 6	1351	大日本古文書(同上)	とうたうミのくに一のミヤ
正平 7	1352	筑紫古文書追加(同上)	遠江国一宮庄
至徳 4	1387	大般若経奥書(同上)	遠州一宮庄内蓮花寺安養寺
応永31	1424	大般若経奥書(同上)	遠州一宮庄内天満宮
正長元	1428	崇信寺文書(同上)	遠州路一宮庄大洞禅庵
永享 4	1432	御前落居記録(同上)	遠江国一宮庄代官職
文明17	1485	血脉集(同上)	遠州一宮莊ハ子大祢宜大郎左衛門
天文12	1543	今川義元判物(同上)	遠江国一宮庄之内、金胎兩部之 一社天宮事
天正 3	1575	武徳編年集成	(小)国ハ当国一ノ宮也。小國一宮 鹿菌大菩薩社頭一宇
慶長 8	1603	一宮縁起(同上)	小國一宮鹿菌大菩薩
延宝 8	1680	遠州周智郡一宮記録 (『町史』三)	周智郡一宮小國神社
貞享 2	1685	諸社一覽	奉崇小国一宮
元禄10	1697	一宮巡詣記	一宮周智郡事任社
正保 2	1712	和漢三才図会	一宮事任大明神、在周智郡一宮村
元文 3	1738	遠州一宮御神宝 御入用目録見帳	遠州一宮神主鈴木彈正
寛政11	1799	遠江国風土記伝	(一之宮)所謂式内の小國神社なり
享和 3	1803	遠江国古跡図絵	一之宮は当国一の大社宮城村に有 小國神社とある社今も一宮郷、
慶応 4	1867	総社或問	一宮村にありて隨に称す。
不明		巡礼旧神詞記	一宮小国大明神

### 田遊び神事の詞章

鎌倉時代中期頃より行われていると伝わる「田遊び」では、当社を遠江国の一宮と位置づける詞章があります。七番の「種蒔き」では、「東を大井川、南は海、西は境川、北は信濃」と大きな声で唱えながら稲種を蒔きます。これは遠江国内の平安と豊作を祈り、

国境より悪いものを追い払う唱え言葉をする事により遠江国一宮としての役割を果たしていると考えられます。また、八番の「祝詞」の中には「遠江者十三群当国乃氏神小國一宮事任神社」という詞章があります。神社の名称は小國神社というだけではなく一宮とも事任ともいうのです。このように「小國」と「一宮」は常に対になって呼ばれるようになりました。

### 一宮と云われる所以

吉田神道の流れを汲む橘三喜は、元禄時代に日本人として初めて諸国一宮を巡拝します。

橘三喜の記した『一宮巡詣記』によると、「荒居の番所より一里の船渡し舞阪、まんごう村、笠原、高塚、池田の宿より一宮へ入り、大海村、山梨村など通り、五里余り過ぎ、神主小國彈正所に至る。九日、神主案内にて社参す。此社は山深く木立物ふりてかうかうし、巳刻一宮を出、山梨村を通り、袋井の町に出る。掛川を過ぎて日坂町に留る。八幡神主榛屋備前采女來る」というものです。

このことから、当時の人々も遠江国一宮といえは小國神社であるという認識があったことがわかります。その長きにわたる信仰の中心にあったのは小國の神が降臨された地と伝わる本宮山です。



本宮山からは一宮川を始め多くの川が流れ平野部の耕地を潤しており、里の農耕に携わる人々には神の寄りいまず山と仰がれてきました。里に生きる人々は、本宮山より流れ出た水の恵により農耕をし、海に生きる人々は本宮山を「当て山」として自らの位置を確認しながら漁を行い生活していたのです。このように小國の神は、遠江の国を一望できる本宮山を信仰の拠り所として、国土の豊穡神や遠江国の守護神とも意識されてきたのです。それはまた、小國神社が遠江国一宮として信仰されてきた所以であると考えます。

# 社頭動静

## 初 甲子祭の齋行

三月十七日(水)午前九時より初甲子祭を齋行いたしました。

甲子の日は、十干十二支の最初の干支で、当社のご祭神大己貴命(おおなむちのみこと)が「国作り」を始められた吉日とされ、六十日に一度巡るその日はご縁日とされています。その中でも、初甲子祭は、特に御霊験あらたかな日とされ「願い事がままに叶う」と古来より伝わります。

本年は、ご本殿のお屋根替えにより本殿の廻りを歩くことは叶いませんでしたが、お屋根替えの様子をご覧いただきながら神様の間近にてお参りして日々の感謝と今後の健康などをお祈りされていきました。



▲御本殿前でお参りする参列者

## 献 茶祭の齋行

四月十六日(木)午前九時三十分より献茶祭を齋行いたしました。

献茶祭は、森町で茶業を営む方々により結成された『小國神社献茶会』が摘みだたての新茶をご神前にお供えし、国家の安泰と国民の繁栄、そして茶業の振興をお祈りするため毎年執り行っています。

本年は煎茶道 静風流 守本湖堂様・天野智堂様にお点前のご奉仕をいただき、森町茶商組合組合長の松浦芳雄様を始め、森町長太田康雄様など、ご関係の皆様のご参列を賜りました。

また、近年の研究によりますと、お茶(特に冷茶)に含まれるエピガロカテキンガレートが新型コロナウイルスを効果的に不活化する作用が期待できると注目されています。



▲ご神前に新茶をお供えます

## 端 午祭の齋行

五月五日(水)午前十一時より端午祭を齋行いたしました。

ご神前には、柏餅や菖蒲湯用の菖蒲などをお供えし、約四十組のご家族が参列される中、お子様の健やかなるご成長をお祈り申し上げました。

端午の節句は「菖蒲の節句」とも呼ばれます。菖蒲には、古来より健康を保ち邪気を祓う力があると信仰されており、家の軒に菖蒲を飾って邪気を祓うという風習も古くから行われました。

また、端午の節句は、古来より宮中で行われていた行事であり男の子の成長を祝い健康を祈るものですが、江戸時代頃には民間にも広がり、現在のような子供たちの健やかな成長を祈るお祭りになったといわれています。



▲神札や菖蒲を授与します

## 本 宮山青葉祭の齋行

五月六日(木)午前十一時より、本宮山青葉祭を齋行いたしました。

本宮山は、当社のご祭神「大己貴命」が天降られた地とされ、標高五一メートルの山頂にはご祭神の荒魂を祀る奥磐戸神社が鎮まります。

当日は、社殿を清々しい薫りの黒文字の木で飾り、多数の皆様のご参列のもと、豊かな恵みに感謝し、国の隆昌と地域の平安、氏子崇敬者の安泰、そして感染症の一日も早い鎮静化をお祈りいたしました。

また、毎月六日の十時頃から月次祭(国と地域の平安と、氏子崇敬者の安泰を祈るお祭り)を齋行しています。どなたでもご参列が出来ますので、皆さまお誘い合わせの上、ご登拝下さい。



▲祭典後挨拶をする宮司



シタール奉納演奏▲



二宮金次郎翁石像除幕式▲



御田植え神事▲

## 宮代神饌田 御田植祭斎行

五月二十三日(日)午前十一時より、宮代神饌田御田植祭を執り行いました。

当日は、天候にも恵まれ衆議院議員宮澤博行様を始め、県議会議員伊藤和子様など多数の皆様のご参列をいただき、江戸時代の文献「延宝の記録」をもとに再現した神饌物をお供えし、祭典を執り行いました。

新型コロナウイルスの感染防止を考慮し民俗芸能・民俗行事公開大会は中止となりましたが、奉耕者の内山博文様や氏子青年会会長の成瀬満雅様、副会長内山智昭様のご奉仕により規模を縮小しつつも無事にお田植え神事を執り行うことが出来ました。

## 一 宮金次郎翁石像の奉納

三月十八日(木)午前十時より、公益社団法人 大日本報徳社社長 鷲山恭彦様を始め責任役員の皆様のご参列をいただき、二宮金次郎翁石像の除幕式(清祓式)を執り行いました。

この石像は、当社の崇敬者で有限会社一十園社長小林健様のご厚志により、門前太鼓橋の東側にご奉納賜り、報徳の教えを後世まで伝えるべく「敬神崇祖」の石碑と対になるような形で建立いたしました。

二宮尊徳(一七八七〜一八五六)は経済と道徳の融和を訴え、私利私欲に走るのではなく社会に貢献すれば、いずれ自らに還元されると説く報徳思想を広め、江戸時代末期までに沢山の村々で財政再建や農村復興に尽力されました。

また、昭和を代表する経営者達にも多大な影響を与えた人物です。

## 加藤貞壽様によるシタールの奉納演奏

三月二十七日(土)拝殿前の舞殿におきまして、シタール演奏家の加藤貞壽さんにより「シタール奉納演奏」もろに捧ぐシタールの響きを聞かれました。シタールとは、今から約七百年前の古代インドで生まれた弦楽器です。

芸術や学問の女神サラスバティ(日本では弁財天とされる)が奏でる楽器として広く知られていますが、大きな瓢箪(ひょうたん)をくり抜き作られており、人間の可聴域を超える高周波音成分を多く含んだ、神秘的な響きが特徴です。

大神様も異国の美しい音色に、さぞお喜びのことと拝察いたします。

## 「写典と日本茶でマインドフルネス体験」開催

五月一日(土)当社研修室におきまして、ドリップ式の茶器「刻音(ときね)」で淹れた日本茶を飲みながら、祓詞を浄書するマインドフルネス体験の催しが開催されました。

マインドフルネスとは気を散らす様々な思いにとらわれることなく、身体の五感に意識を集中させ、「今(瞬間)の気持ち」「今ある身体状況」といった現実があるがままに感じ取り受け入れる心を育む練習のことをいいます。

また、神道でも同じような思想で「中今」という言葉があります。過去、現在、未来の時間のなかで、現在という時間を最も価値のあるものと考えます。今のこの一刻一瞬を大切に、精一杯充実したものにすることです。

今回の催しは、心塞ぎがちな現在の状況の中で不安やストレスを少しでも軽くして心と身体を元気にしようという試みとなります。体験終了後、参加者の皆様はとても穏やかな表情をされていました。

写典をする皆様▼



徳嵩よし江様によるキルトアート作品の奉納▼



浜松市立高等学校箏曲部の皆様による奉納演奏▼



# これからの 行事

12月



宮川の紅葉



## 師走大祓式

12月31日(金)午後3時より、師走大祓式を斎行いたします。下半期の罪穢れをお祓いし、清々しく新たな年を迎えることができます。どなたでもご参列ができますので、ご家族皆様でご参列下さい。



つきなみさい

## 月次祭ご参列のご案内

日時：毎月1日・18日10時より(約30分程度)  
場所：小國神社拝殿

月次祭は、毎月欠かさずに行われ、神職が日本国、また地域の平安と、氏子崇敬者の安泰を祈ります。月参りともいわれ、この日にお参りするとご加護が受けられるともいわれています。

事前申込みなどは必要ありません。どなたでもご参列できます。ご参列の際は、祈禱受付にてお声かけください。

## 11月

## 霜月

- |     |          |            |
|-----|----------|------------|
| 1日  | 月次祭      | (午前10時)    |
| 1日  | 一宮祖霊社月次祭 | (午前11時)    |
| 3日  | 明治祭      | (午前10時)    |
| 6日  | 本宮山月次祭   | (午前10時)    |
| 6日  | 大骨董蚤の市   | (日の出～午後3時) |
| 7日  | 山神社例祭    | (午前10時)    |
| 10日 | 本殿遷座祭    | (午後 7時)    |
| 11日 | 本殿遷座奉幣祭  | (午前10時)    |
| 12日 | 甲子祭      | (午前10時)    |
| 15日 | 七五三祝祭    | (午前10時)    |
| 18日 | 月次祭・稲祭   | (午前10時)    |
| 19日 | 疫神齋      | (午後 4時)    |
| 21日 | 地鎮祭      | (午前10時)    |
| 23日 | 新嘗祭      | (午前10時)    |
| 23日 | 奉納農産物感謝祭 | (午前10時)    |
| 28日 | もみじまつり   | (午前10時)    |

## 12月

## 師走

- |     |          |            |
|-----|----------|------------|
| 1日  | 月次祭      | (午前10時)    |
| 1日  | 紅葉祭      | (午前11時)    |
| 1日  | 一宮祖霊社月次祭 | (午前11時)    |
| 4日  | 大骨董蚤の市   | (日の出～午後3時) |
| 6日  | 本宮山月次祭   | (午前10時)    |
| 11日 | 鎮火祭      | (午後 3時)予定  |
| 18日 | 月次祭      | (午前10時)    |
| 18日 | 滝宮例祭     | (午前11時)    |
| 18日 | 初穂献納祭    | (午前11時30分) |
| 25日 | 煤佛祭      | (午後 1時)    |
| 31日 | 大祓式・除夜祭  | (午後 3時)    |

# 小國神社の 祭典・

8月～

8月7日(土)・9月4日(土)・10月2日(土)・11月6日(土)  
12月4日(土)の日の出より午後3時頃まで  
小國神社第5駐車場で開催!!

## 大骨董蚤の市のご案内!! ～隠れた銘品を探して…～

早朝から、多くの店舗が軒を連ねます。  
陶器や古着、アンティーク品など多種多様な骨董品が出品されます。

貴重な銘品も隠れていそうです。お店を覗きながら、骨董商との会話を楽しんでみてはいかがでしょうか。

## 8月

はづき  
葉月

- |     |          |            |
|-----|----------|------------|
| 1日  | 月次祭      | (午前10時)    |
| 1日  | 一宮祖霊社月次祭 | (午前11時)    |
| 6日  | 本宮山月次祭   | (午前10時)    |
| 7日  | 大骨董蚤の市   | (日の出～午後3時) |
| 18日 | 月次祭      | (午前10時)    |

## 9月

ながつき  
長月

- |     |          |            |
|-----|----------|------------|
| 1日  | 月次祭      | (午前10時)    |
| 1日  | 一宮祖霊社月次祭 | (午前11時)    |
| 4日  | 大骨董蚤の市   | (日の出～午後3時) |
| 6日  | 本宮山月次祭   | (午前10時)    |
| 13日 | 甲子祭      | (午前10時)    |
| 18日 | 月次祭      | (午前10時)    |
| 23日 | 秋季皇霊祭遙拝式 | (午前10時)    |
| 23日 | 一宮祖霊社秋季祭 | (午前10時30分) |

## 10月

かなづき  
神無月

- |     |          |            |
|-----|----------|------------|
| 1日  | 月次祭      | (午前10時)    |
| 1日  | 宮代神饌田拔穂祭 | (午前11時)    |
| 1日  | 一宮祖霊社月次祭 | (午前11時)    |
| 2日  | 大骨董蚤の市   | (日の出～午後3時) |
| 6日  | 本宮山月次祭   | (午前10時)    |
| 9日  | 白鬚神社例祭   | (午後 3時)    |
| 17日 | 神嘗奉祝祭    |            |
|     | 神嘗祭遙拝式   | (午前10時)    |
| 18日 | 月次祭      |            |
|     | 福神像頒布式   | (午前10時)    |



### 秋季皇霊祭遙拝式

9月23日(木)、宮中では歴代の天皇・皇后・皇親の霊を祀る祖霊祭『秋季皇霊祭』が厳かに行なわれます。当社では、同日に皇居内の皇霊殿の方角に向けて拝礼し、皇室の弥栄と国の安寧を祈ります。



### 新嘗祭

11月23日(火)10時より、大神様へ1年の収穫と諸産業発展の感謝を申し上げる新嘗祭を斎行し、奉納農産物感謝祭や篤志奉納者への感謝状の贈呈式も執り行います。年間の祭典の中でも最も重要な祭典の一つです。





## 天皇陛下 御即位記念

# 令和の お屋根替え

次世代へ繋ぐ 祈り・技・美



### ご奉賛のお願い

小國神社では、令和の御代替わりをお祝いし、天皇陛下御即位記念『令和のお屋根替え』〜次世代へつなぐ祈り・技・美〜を、四年の歳月をかけ、御本殿以下社殿群のお屋根の葺き替え工事をおこないます。

当社の御本殿以下社殿のお屋根は、日本唯一の伝統技法「檜皮葺」（檜の皮で屋根を葺く技法）で葺かれた屋根です。古来より、その造形の柔らかな曲線と風合いに代表される繊細な優美さは、日本の風土と調和してきました。古典文学「枕草子」には、『雪は檜皮葺、いとめでたし。すこし消えがたになりたるほど。』と綴られ、白雪と檜皮の屋根が織りなす色の絶妙なコントラストが風情豊かに表現されています。

また、定期的な葺き替えが必要であることが示すように、材そのものの美しさを喜び讃え、清らかな状態を大切にしてきた私たちの祖先が造りだした「日本の美」であり、古より変わることのない神様への「祈り」が、その「技」と「美」を護り伝えてきました。

しかしながら、現在、御本殿以下社殿のお屋根は、古いものでは六十余年、新しいものでも四十余年の月日が経過しております。檜皮を使ったお屋根はたびたび補修を施して参りましたが、耐用年数を考慮するとき、葺き替え工事に着手するべきと判断致しました。

つきましては、ご祭神、大己貴命が鎮まる御本殿をはじめ社殿の常若（いつまでも若々しくあること）に努め、先人が護り伝えてきた、「祈りの精神文化」と貴重な「伝統技術」を次世代につなぎ、より一層神さまのご加護を戴けますよう、本事業を進めて参りたく存じます。

世情厳しい折かと存じますが何卒、趣旨をご理解いただき、ご支援、ご奉賛を賜りますようお願い申し上げます。

遠江国一宮 小國神社  
小國神社崇敬奉賛会  
天皇陛下御即位記念事業「令和のお屋根替え」  
募財委員会委員長 龜山 銀男  
宮司 打田 文博  
会長 鈴木 覺

**募財期間：**令和元年 8月 1日から  
令和 5年10月30日まで  
**総予算：**3億5,000万円

#### 工期日程

- 第1期工事 令和2年1月14日～ 3月31日：真名井(完工)  
令和2年2月12日～10月20日：神徳殿・渡り殿(完工)
- 第2期工事 令和3年1月19日～10月30日：御本殿(着工)  
令和4年2月12日～ 5月30日：並宮
- 第3期工事 令和4年4月20日～12月10日：拝殿  
令和5年2月12日～10月30日：中門、幣殿

#### お屋根替えにともなう主な文化事業 (葺き替え工事現場見学会)

屋根葺き替え作業の様子を一般公開いたします。  
日程、お申し込み方法は、改めてお知らせいたします。

ご寄付に関する詳しいお問い合わせは、  
小國神社崇敬奉賛会事務局までお願いいたします。

○お問い合わせ先：小國神社崇敬奉賛会事務局  
〒437-0226 静岡県森町一宮3956-1  
電話：0538-89-7302

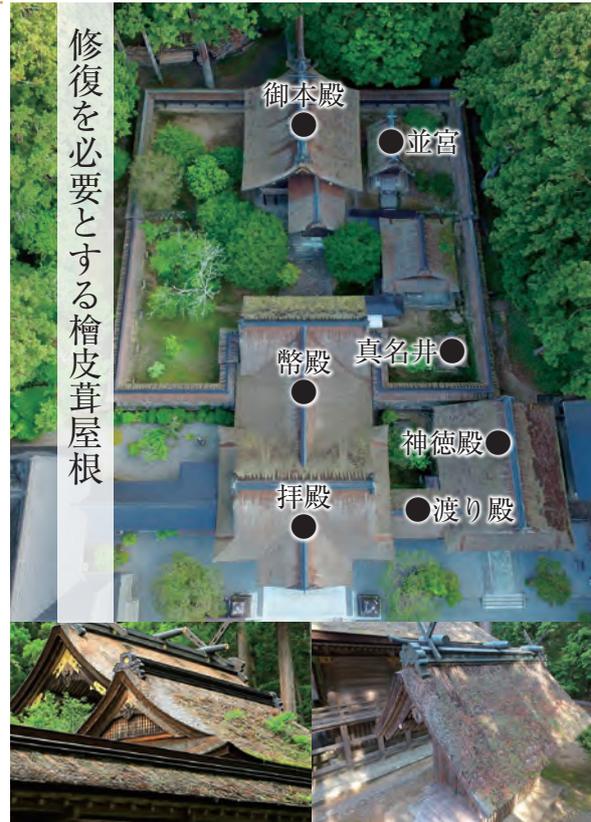
Email oyanegae@okunijinja.or.jp  
「令和のお屋根替え」～次世代へつなぐ 祈り・技・美～  
公式WEBサイト okunijinja.or.jp/oyanegae/



**奉賛金について**  
社務所にてお申し込みができます。  
(その他の方法をご希望の方は事務局までお問い合わせ下さい)

永い年月に亘って雨風に晒された屋根は、損傷や経年劣化、植物の侵食などが確認できます。

#### 修復を必要とする檜皮葺屋根





葺き替えが完工した神徳殿

# 令和のお屋根替え

## 檜皮葺

ひわだ ぶき

一三〇〇年にわたって継承される、  
優雅な造形美と日本の風土に適応した  
「用と美」の伝統技法

小國神社のお屋根は、日本古来の伝統技法「檜皮葺」（檜の皮で屋根を葺く技法）で葺かれた屋根です。

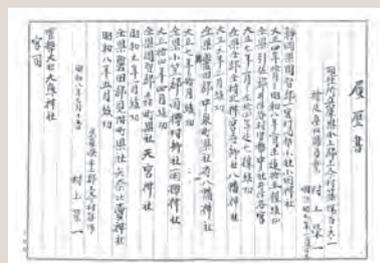
飛鳥時代に広まり、奈良時代では上級建築に用いられ、平安時代には最も格式の高い屋根工法となり、神社建築などに用いられました。

樹齢百年以上の檜を伐採することなく皮だけを取り、職人の手によって仕上げられる檜皮葺屋根は、三十年以上の雨風から御社をまもる機能性と繊細で美しい曲線美を兼ね揃えた、国外には例を見ない日本特有の文化資産としても認知されています。



### 株式会社 村上社寺工芸社

大正4年創業。兵庫県丹波市で100余年の歴史をもつ。日本古来の技法で、国の選定保存技術に指定されている檜皮葺・柿葺の職人技術をもち、国内の国宝・重要文化財等社寺仏閣の屋根を葺く。創業年に「遠江国一宮 小國神社 檜皮葺屋根の葺き替え」を施工した記録が残る。



創業当時の記録

### 職人紹介



### 進捗状況

現在、御本殿のお屋根替えに着手しています。  
(令和三年六月現在)



▲階隠 箱棟の設置



▲御本殿 蛇腹板の取付



▲御本殿 檜皮軒付け作業



檜皮を整える村上社寺工芸社の職人達

YouTube



綴皮工程の動画がご覧頂けます。

### 職人の技【片手で竹釘を打つ】



20~30 本程の竹釘を口に含み、舌を使って一本ずつ口から釘を出します。金槌を握る手で釘を掴み、屋根金槌の「伏金」と呼ばれる部分で檜皮に差込み、金槌で打ち込みます。金槌の格子状の溝により竹釘の頭が潰れ、抜けない形状で完全に打ち込まれます。

YouTube



片手釘打の動画がご覧頂けます。

天皇陛下御即位記念

令和のお屋根替え

次世代へつなぐ祈り・技・美

『ご奉賛の皆さま』

お陰をもちまして、多くの皆さまに天皇陛下御即位記念「令和のお屋根替え」の趣旨をご理解頂き、ご支援、ご奉賛を賜っておりますこと篤く御礼申し上げます。

現在、真名井及び神徳殿（祈禱殿）の葺き替え工事が完工し、御本殿の工事に着工しています。

ご奉納頂いたご浄財は造営資金として大切に活用させていただきます。

職員一同、更なるご神徳の発揚に努めますので、今後とも変わらぬご崇敬を賜りますれば幸いに存じます。

ここに、ご芳名を掲載し改めまして重ねて御礼を申し上げます。

●壹百萬円以上

(有)静岡木工

代表取締役

杉本かづ行

杭迫 柏樹

寒川神社

宮司 利根康教

株式会社 久米吉

代表取締役

倉島 正三

藤枝市

伊藤 明

●五拾萬円以上

office YK

株式会社

代表取締役

鈴木 芳子

大沼建設株式会社

代表取締役

大沼 賢吾

正光建設株式会社

代表取締役

星島 泰周

●参拾萬円以上

(株)丸井紙店

代表取締役社長

有泉 誠一

松尾 正樹

天宮神社

●貳拾萬円以上

山下 忠昭

●壹拾萬円以上

朝比奈 篤

毛利 正雄

根本 臣悟

山下 徳計

新貝加代子

堀井 弘

朝比奈輝男

有限会社

ヤマニシ建築

西尾 安彦

株式会社鈴木建築

代表取締役

鈴木 清次

サガラ眼下

上村健太郎

白川 方明

●五萬円以上

村松 瑞香

藤田 勝凱

西尾 貞雄

高木 清浩

渥美多加至

村松 岩夫

藤田 宏昭

朝比奈只一

松村 桂市

●壹萬円以上

山岸志恵子

加藤 惇彦

岩崎 秀男

関根 亘

野口 将英

水野 秀二

藤田 政男

鈴木 幸男

朝比奈克治

藤田 詔利

朝比奈均至

林 豊

朝比奈 昇

朝比奈秀繁

鈴木 康義

新貝 康夫

天野智加志

金原 光春

藤田 富江

宮田 由美

浅間大社俗人会

●金一封

毒島早也人

大場 敏

磯崎 保美

齋藤 正男

番匠千佳子

小林 悦夫

佐野東海江

曾根 叡

伊藤弥寿子

小松 美智

鈴木 美輪

望月ふじ美

大井 里美

西久保好生

金原 宏美

小口 勇樹

米村 裕香

橋岡 俊樹

生熊 伸羊

梅谷 煌大

高安富美子

鈴木有紀子

大森 一樹

中田 俊史

梅 美貴子

手打そば 築

牧野 築

萩田 直記

田口 悟

田口 恵子

田口美由紀

田口由紀子

萩田 文子

近藤 俊明

加藤 邦明

森 光司

家田 文子

明日の神話を

生きる会

山田 祥年

曾根 敏之

水口 智統

鈴木 辰明

高宮 朝昭

高宮真由美



※令和3年3月1日～令和3年5月31日迄（順不同・敬称略）

# 新生児選名・命名について

## 生を受け、生を伝える 「人の一生」

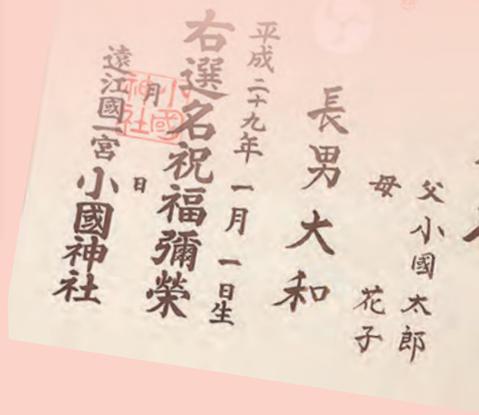
様々な節目を迎えるとき、神さまへ「感謝」と「ご奉告」を行うことは、古来より受け継がれた日本の文化です。

当社では、日本の伝統文化に則した新生児にふさわしい名前を選名いたします。また、ご家族で考えられたお名前候補の中からご相談の上、選名いたします。お名前が決定の後、お子様の無事成長と一生の幸せをご神前でお祈りし、お神札、朱印を押印した命名書を授与しております。



## 命名

令和三年三月一日(月)、  
令和三年五月三十一日(月)



当社で命名奉告をされた皆様 ▶

大場日奈太	浜松市	尾関 涼	磐田市	黒田 惟斗	菊川市
川鈴木 淳	磐田市	赤堀 僚哉	菊川市	奥田 吏花	浜松市
熊谷 駿希	磐田市	清水 咲杜	浜松市	中村 碧花	浜松市
石塚 ゆら	浜松市	高橋 大和	掛川市	澤口 結斗	袋井市
杉岡 瑠人	湖西市	鈴木 瑛太	掛川市	山崎 千嘉	浜松市
松本 大和	森町	笠松 実生	浜松市		
鳴 莉音	掛川市	長谷川航也	森町		

お申し込み方法など詳しくは、小國神社 選名・命名奉告で検索

小國神社 選名・命名奉告

# 神社を知れば日本がわかる “まつりの国、日本”



イラスト：  
小國神社ものがたり  
作：たたら なおき

## ●お清めの塩のお話●

お清めに塩を用いることは、我が国の宗教的な習慣であり、海水を意味する「潮」とも通じて様々な風習があります。

古くは、『古事記』・『日本書紀』に黄泉の国から戻った伊弉諾尊（いざなぎのみこと）が自らの体に付いた黄泉の国の穢れ（けがれ）を祓うため、海水で禊祓い（みそぎはらい）を行ったことが記されています。

このことが民間においては、「潮（塩）垢離」（しおごり）といって海水を浴びて身を清めたり、海水を沸した「塩湯」（えんとう）が、病氣治癒や無

病息災のために用いられるといった風習に繋がっていきました。これも塩が持っている優れた浄化力や殺菌力を経験的に知っていたためと考えられます。

現在、神社のお祭りで行うお祓いでも、塩水でお清めを行う塩湯が用いられますし、葬儀の際などに一般的に塩が用いられるのも、こうした信仰に基づき非日常と日常を区別する清めの行為を象徴的に行ったものといえます。

塩の力によって祓うことは、祖先からいただいた優れた知恵であり、古来より伝わる日本の伝統文化です。

# 一社三山

## もみじめぐりが始まります

夏詣、青葉もみじ

いよいよ、古より遠州・三河の地で地域の安寧を祈ってきた一社三山（普門寺・龍潭寺・尊永寺・小國神社）もみじがつながぐ、聖地巡礼の旅がはじまります。

古来より、私たちの祖先は自然の移ろいに心を重ね、そこに潜む霊性を感じ取り、神仏を大切にして過ごしてきました。このような生き方は日本人の美しい精神文化の一つです。

不安定で忙しない世の中を生きる現代人は、心も体も知らないうちに疲れきってしまうことが多々あります。

ふと立ち止まり、神仏に心静かに祈りを捧げる時間は、自分を見つめなおし、心を整え、豊かな日々の礎を作ります。

新緑から深緑へ移ろう、力強い季節。訪れる時間帯で各社寺の境内の表情は美しく変わります。一社三山、それぞれのお気に入りの時間帯を見つけてご参拝ください。



癒やしの斎庭で過ごすひととき

# 遠州・三河 一社三山 もみじめぐり

古来より国境を越えて交流が盛んだった遠州・三河地域。宗教を越えて、もみじで繋がる緑鮮やかな季節は古社寺巡礼の旅路でお楽しみください。



臨濟宗妙心寺派  
萬松山 龍潭寺

小堀遠州作の庭園は、四季のうつろいを感ずる名園



遠江国宮  
小國神社

豊かき自然に包まれた境内、宮川沿いの緑のトンネルに癒される

一社三山、もみじがつながぐ祈りのこころ



高野山真言宗  
船形山 普門寺

新緑が山々に美しく映える季節を愉しむ



高野山真言宗別格本山  
法多山 尊永寺

眼下のほとけが、緑に包まれて多岐を歩く

もみじめぐり  
公式サイト

- 詳細／お問い合わせ  
もみじめぐり公式サイトより一社三山のサイトへアクセスできます  
お問い合わせは各神社へ直接お願いいたします
- 遠江国一宮 小國神社  
〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮3956-1 TEL.0538-89-7302
  - 萬松山 龍潭寺  
〒431-2212 静岡県浜松市北区引佐町井伊谷1989 TEL.053-542-0480
  - 法多山 尊永寺  
〒437-0032 静岡県袋井市豊沢2777 TEL.0538-43-3601
  - 船形山 普門寺  
〒441-3104 愛知県豊橋市雲谷町サベ山下7 TEL.0532-41-4500

『もみじめぐり公式サイト』 <https://www.momijimeguri.com>





第18回最優秀賞 松浦嘉人氏「秋雨の森」

# 古代の森 小國神社

## 〔第19回〕写真コンテスト

「小國神社で見つけた日本の美しさ」を表現した「こころ安らぐ」素敵な作品を心よりお待ちしております

### 「伝統文化」「美しい自然」を切り取る

本年も好評をいただいております「古代の森小國神社写真コンテスト」を開催いたします。小國神社で見つけた日本の美しさを表現した写真を募集しています。作品一枚からでも、年齢やお住まいを問わず誰でも応募いただけるコンテストとなっております。

### 作品のご応募について

- 募集部門
    - 第一部門 境内に咲く草花・樹木などの自然
    - 第二部門 祭事・催物
    - 第三部門 野鳥
  - 応募期間
    - 令和三年六月一日～七月十日必着
  - ご応募のきまり
    - カラープリント 四切/ワイド四切(フチなし)
    - 撮影期間 令和二年七月上旬～令和三年六月下旬
    - 未発表作品に限ります
- ※詳細は当社WEBサイト、当社・県内写真各店配布の応募用紙をごらんください。

### 最優秀賞から入選まで各賞をご用意

- 受賞作として二十作品を選び、表彰と懸賞のお渡しをしています
- 最優秀賞 一名 賞金五万円 賞状 森町産お茶
  - 優秀賞 三名 賞金二万円 賞状 森町産お茶
  - 特別賞(宮司賞) 一名 賞金三万円 賞状 神饌茶
  - 入選 十五名 賞状 副賞(二品)

心ゆくまで作品を堪能できる写真展へお越しください。ご応募いただいた作品の中から、受賞作品・展示作品、約五十点を選び、展示いたします。

写真展の開催予定

小國神社休憩所2階研修室  
令和3年9月頃開催予定

### 写真展に寄せられた皆さまからのご感想



- 皆さん、とても素晴らしい感性をお持ちで観ているだけで癒されます。(浜松市)
- 野鳥の写真には、心がほっこりさせられました。(森町)
- 美しい写真ばかりで感動しました。(袋井市)

- 紅葉の写真を見ていると日本の四季の素晴らしさを改めて感じました。(藤枝市)
- 写真を撮る人の心の美しさが、そのままフレームに表れ心を洗われました。(町田市)

詳しくはこちら [第19回 小國神社 写真コンテスト](#)

検索

# 新型コロナウイルス感染症への取り組み

当社では、毎朝の日供祭に合わせ新型コロナウイルス感染症鎮静祈願の祝詞を奏上し、1日も早く事態が鎮静化するように大神様にお祈りするとともに感染拡大防止のため、以下の対策を実施しております。ご不便をお掛けいたしますが、皆様のご理解ご協力の程をお願い申し上げます。

## 境内について

- ご参拝につきましては通常通り参拝ができますが、マスクの着用をお願いいたします。
- 参道横の手水舎は柄杓を撤去し、流水にてお清めいただいています。
- 拜殿前賽銭箱の鈴緒は撤去させていただいています。
- ソーシャルディスタンスにご協力ください。
- 各所に消毒液を設置していますので、ご利用ください。



## お礼お守りの授与・ご朱印受付について

- 午前9時～午後4時まで、通常通り行っています。
- 窓口には、飛沫感染防止の亚克力板を設置しています。

## ご祈祷について

- 受付時間は、午前9時～午後4時まで通常通りご奉仕しています。
- 昇殿人数の制限を行っております。※昇殿とは、ご祈祷のため拜殿に入ることです。1家族あたり4名までとさせていただきます（未就学児除、但し席は4席です。）
- 受付には、飛沫感染防止の亚克力板を設置しています。
- 拜殿内及び祈祷者控室内は、除菌噴霧を行い室内換気も行っています。
- ご祈祷中は、マスクの着用をお願いいたします。（未就学児除）
- 玉串による拝礼は、ご遠慮いただいております。



## 神社職員の対応

- 職員は入社前の検温を実施し、手洗いうがいを徹底しています。
- 社務所内に消毒液を設置し、定期的に消毒をしています。
- 全職員マスク着用にて社務を実施しています。

## その他

- 発熱や倦怠感、風邪の症状のなどをお感じの方は、症状が改善されるまでご参拝をご遠慮いただきますようお願い申し上げます。



## ◇辞令交付◇

巫女見習い  
原 有香  
巫女を命ずる  
(令和三年五月一日)

今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 編集後記

玉垂六十二号をお届けいたします。本年の花しようぶは、温暖な気候の影響もあり常より一週間ほど早く開花しました。早生・中手がほぼ同時に咲き揃う、とても美しい景色がご覧いただけたのではないのでしょうか。

さて、今号では公益社団法人 大日本報徳社社長 鷺山恭彦様より特別寄稿を賜りました。誠にありがとうございます。

二宮金次郎は、江戸時代後期に農家に生まれ、少年期は家業を手伝いながら寸暇を惜しんで勉学に励み、より良い生活をめざす模範的な少年でした。大人になると農村や藩のために働き、多くの人々を救います。その「一生懸命努力する」「働くことを惜しまない」など、日本人が大切にしてきたものを沢山持っていた人物であり、その尊い教えを伝えるため修身（現在の道徳）の教科書に取り上げられるようになりました。

さらに、昭和初期より報徳の教えを後世に伝えるべく、全国の学校に少年時代の二宮金次郎像が次々と建てられました。

今後、報徳の精神が正しく伝わりますようお願いいたします。

縄巻修巳様(尺八)・越智魔子様(篠笛)による奉納演奏



イラスト：小國神社神通り縁結び公式キャラクター「つちの君」(左上)、「つちの姫」(右上)

